

第108期中間 株主通信

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日

証券コード：4536



世界中のひとみを守りたい

海外事業の大きな成長により、 事業活動を通じた社会課題の

代表取締役会長
兼CEO

黒川 明



2019年度第2四半期の業績

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

参天製薬グループでは、長期経営ビジョンである「世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニー」の実現のため、市場を上回る成長、そして利益率と資本効率の維持・向上に積極的に取り組んでいます。

2019年度第2四半期におきましては、売上収益は1,187億7千5百万円（前年同期比3.9%の増収）、本業での実力を示すコアベースでの営業利益は256億3千9百万円（同6.2%の増益）となり、2019年度の目標達成に向け順調に進捗しています。日本では医療費抑制への政策など厳しい市場環境ながら、主要製品の成長により堅調に推移しました。一方、海外売上は為替によるマイナス影響を吸収して

<基本理念>

天機に参与する¹

1. 中国の古典「中庸」の一節を参天が独自に解釈したもので、社名「参天」の由来でもあります。自然の神秘を解明して人々の健康の増進に貢献するということを意味しています。

肝心な事は何かを深く考え、どうするかを
明確に決め、迅速に実行する。

<基本使命>

「目」をはじめとする特定の専門分野に努力を
傾注し、これによって参天ならではの知恵と
組織的能力を培い、患者さんと患者さんを愛
する人々たちを中心として、社会への寄与を行う。

参天製薬の強み

徹底した顧客志向

眼科領域に特化した専門性・技術力

世界の眼科患者さんのQOL向上

継続的に増収・増益を実現 解決に貢献

大きく伸長し、引き続きグループの成長をリードしています。アジアでの売上収益の約6割を中国、約2割を韓国が占めていますが、いずれの国でも現地通貨ベースでの売上収益は前年と比べて二桁の成長を示しています。また、EMEA（ヨーロッパ、中東およびアフリカ）での売上収益もユーロベースでは前年に比べ10%を超える伸びを示しています。

持続的に世界の眼科治療に貢献していくため、患者さんと医療関係者のニーズに応える研究開発活動を積極的に進めています。8月には緑内障用デバイスDE-128のフェーズ2/3試験の速報データを発表し、米国での2020年度上市に向けた準備を進めています。9月には、1日2回点眼の抗アレルギー点眼剤「アレジオンLX」の製造販売承認を日本で取得するとともに、眼科以外の医療機関への提供を促進するために田辺三菱製薬株式会社との共同販売促進契約を締結しました。

配当方針

参天製薬グループでは、株主様への利益還元を経営上の重要課題と位置付け、今後も、安定的・持続的な配当を実施していく考えです。2019年度においては、2018年度に比べ1円増配の年間27円（中間配当13円、期末配当14円）を予定しています。

代表取締役社長
兼COO

谷内 樹生

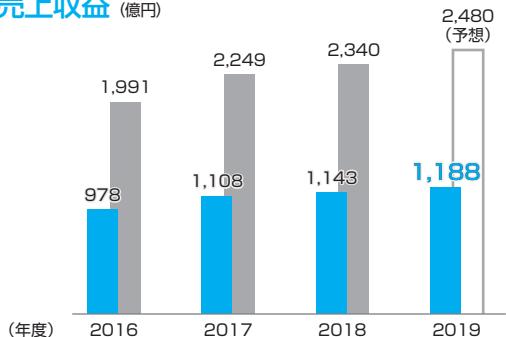


2018年から2019年にかけて、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が日本企業へのESG（環境・社会・ガバナンス）投資にあたり採用している4つの指標全ての構成銘柄*に選定されました。これからも参天製薬グループは、基本理念に基づき、世界中の患者さんや眼科医から求められる製品・サービスの提供を通じて持続的な社会の実現に貢献し、持続的な事業成長を目指してまいりますので、株主の皆さまには、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

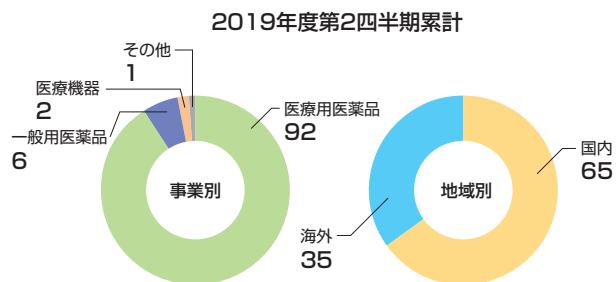
* 女性活躍や環境などへの優れた取り組みを行う企業を組み入れた指標

■ 第2四半期累計 ■ 通期

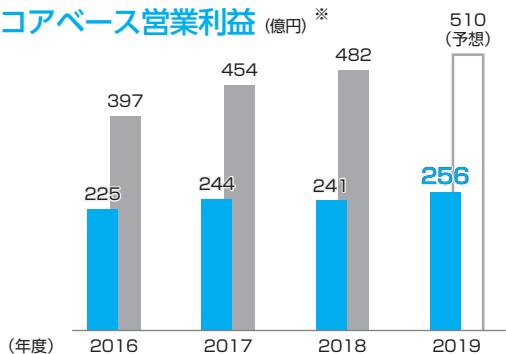
売上収益 (億円)



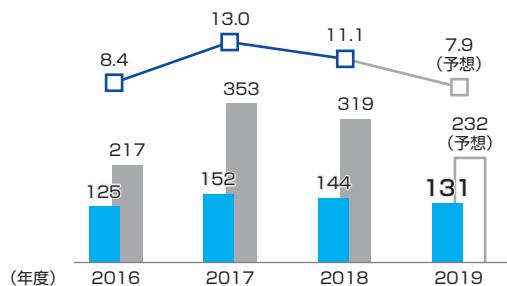
事業・地域別売上収益構成 (%)



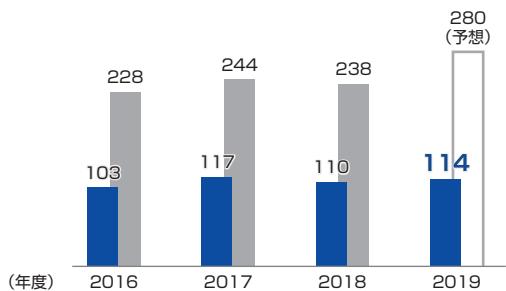
コアベース営業利益 (億円) ※



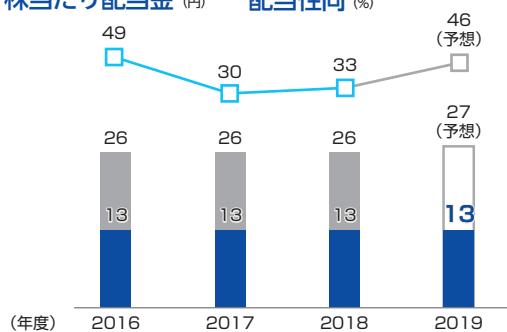
当期利益 (億円) ROE (%)



研究開発費 (億円)



1株当たり配当金 (円) 配当性向 (%)



眼科の医療ニーズに応える研究開発を推進

開発状況（臨床段階）

■ 緑内障領域 ■ 角結膜疾患領域 ■ 網膜・ぶどう膜炎疾患領域 ■ その他疾患領域

2019年10月時点

開発コード	一般名	効能・効果	地域	臨床試験*			申請	承認	発売
				フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3			
DE-111	タフルプロスト/チモールマレイン酸塩	緑内障・高眼圧症	中国	■					
			米国	■					
DE-117 (エイベリス)	オミデネパグ インプロピル	緑内障・高眼圧症	日本	■					2018年11月
			アジア	■					2019年4月
DE-126	sepetaprost	緑内障・高眼圧症	米国	■ フェーズ2b					
			日本	■ フェーズ2b					
DE-128	緑内障用デバイス	緑内障	米国	■ フェーズ2/3					
			欧州	■					
DE-130A	ラタノプロスト	緑内障・高眼圧症	欧州	■					
			アジア	■					
DE-076C	シクロスポリン	春季カタル	欧州	■					2018年10月
			アジア	■					2019年8月
			その他	■					2018年12月
DE-114A	エピナスチン塩酸塩	アレルギー性結膜炎	日本	■				2019年9月	
DE-109	シロリムス	ぶどう膜炎	米国	■					
			日本	■					
			欧州	■					
			アジア	■					2015年4月
DE-122	carotuximab	滲出型加齢黄斑変性	米国	■ フェーズ2a					
DE-127	アトロピン硫酸塩	近視	日本	■ フェーズ2/3					
			アジア	■					
MD-16	眼内レンズ	白内障	日本	■				2019年5月	

* 臨床試験：フェーズ1からフェーズ3までの3段階で実施されます。フェーズ1では、少数の健康な志願者を対象に安全性を確認します。続くフェーズ2では、少数の患者さんを対象に適切な投与量や投与方法を検討・確認します。最後のフェーズ3では、多数の患者さんを対象に安全性・有効性を検証します。



「世界で存在感のある スペシャリティ・カンパニー」の実現

- ・真の顧客ニーズ※1を深く考え
- ・競合企業に対する明確な強みをもって
- ・グローバルな競争力・存在感を持つ会社

※1 真の顧客ニーズ：患者さん・生活者・医師・医療従事者の未充足ニーズ

中期経営計画

**MTP
2020**

地域特性に合わせた事業展開で、市場を上回る成長を実現

2018-20年度中期経営計画「MTP2020」では、各地域での眼科医療への貢献を高めつつ、アジア地域では既進出地域で培った知見を投入することで、市場を上回る成長を目指しています。米国市場では、2021年度以降の収益貢献を目指した準備を進め、持続的な事業展開によるプレゼンスの構築に取り組んでいきます。

日本

- ・圧倒的マーケットシェアを構築した事業モデル、ノウハウ
- ・生産・信頼性保証能力

EMEA

- ・グローバルな影響力
- ・アカデミア、KOL※2の取り込み
- ・各種規制対応能力
- ・人材

米国

- ・「MTP2020」の次のステージでの収益貢献を目指し、準備を進める。

アジア

- ・高成長市場
- ・潜在性、人口
- ・販売・生産ネットワーク

※2 Key Opinion Leader：治療現場や業界への影響力を有する医師などの専門家

財務目標

売上成長率
6%以上
(年平均成長率)

コア営業利益率
21%以上
(期間平均)

フルROE
11%以上
(期間平均)

アジア事業の概況

40億人超の人口を抱え、2020年以降急速に高齢化するとされるアジア。経済成長率は高いものの、医療インフラが発展途上の国も多くあるのが実情です。

参天製薬は、これからも眼科のスペシャリティ・カンパニーとして、アジアの眼科領域にも貢献し続けることで、より多くの方々の「目の健康」に寄与していきます。

	2013年度		2018年度
売上収益(億円)	116	年平均成長率30% 市場年平均成長率10%※3	369
展開国・地域数	10	+5	15
従業員数(名)	485	+620	1,105

※3 参天製薬推計、2013～2020年

■ 現地法人・駐在員事務所設置国・地域

■ 上記以外の参天製品販売国・地域

Focus1

ドライアイ診断ワークショップ - ベトナム

ASEAN地域では、緑内障やドライアイをはじめ、医師の知識・スキルアップにつながる様々な取り組みを積極的に実施しています。実際に患者さんにも参加いただき、若手医師が翌日からの診療で活用できるような実践的な内容のプログラムなどを展開しています。



Focus2

[IBSAブラインドサッカー アジア選手権2019]を支援 - タイ

基本理念の実践の一環として、社会の眼疾患への理解・関心を高めることなどを目的に、グローバルで視覚障がい者スポーツ支援に取り組んでいます。タイで開催された本選手権には、アジア各国の社員約50名が大会ボランティアとして参加しました。視覚障がい者スポーツの支援を通じて、眼疾患がある方やご家族をはじめ、全ての方々の夢や希望を応援していきます。



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

単元株式数 100株
公告方法

電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載URL : <https://www.santen.co.jp/jp/pn>

証券コード 4536

上場証券取引所 東京証券取引所

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

TEL : 0120-094-777

会社概要 (2019年9月30日現在)

社名 参天製薬株式会社
本社 〒530-8552
大阪市北区大深町4番20号
創業 1890年
設立 1925年
資本金 8,287百万円
工場 能登、滋賀、他
研究所 奈良研究開発センター、他
従業員数 4,191名 (連結)

参天製薬株式会社



FSC® 認証紙と植物油
インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

株式に関するお手続きについて

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

お問い合わせ先

参天製薬株式会社
企画本部IR室

〒530-8552 大阪市北区大深町4番20号

TEL : 06-6321-7000 (代表)

06-4802-9360 (IR室)

Email : ir@santen.com

URL : <https://www.santen.co.jp>



ホームページに
最新の情報を掲
載しております。
ぜひご覧ください。